

## 脱炭素社会の実現に向けて



製品事業本部ではアスファルト合材の製造・販売および建設廃材の中間処理業を中心に事業を行っております。

主要製品であるアスファルト合材は150度を超える高温での製造となり、骨材の乾燥加熱を行う際に大きな熱量(重油・灯油・ガス)が必要となります。加えて工場では動力として電力を使用しており、製品製造には大きなエネルギーを消費します。これらのエネルギー消費の削減はもちろん、世界的に重要視されている脱炭素社会の実現に向けて取り組んでまいります。

### 脱炭素社会に向けたこれまでの取り組み

従来の製品製造過程の効率化などによるエネルギー消費の低減に加え、大きな変換点として加熱燃料のガス化があります。使用燃料をガス化することによりCO<sub>2</sub>排出量の削減を目指すものです。

都市ガスへの転換は東京青海、浦和、福岡の3工場にて実施しました。

LPガスへの転換は2018年の京都の福知山工場に始まり、2020年に舞鶴工場、2021年には新設の山形工場に導入しております。

今後も全国各地の工場において燃料の転換を進めており、脱炭素へ向けた取り組みを継続してまいります。



舞鶴みなとアスコン



福知山工場LPG施設



山形工場LPG施設

### 脱炭素社会実現のための今後の取り組み

- ガス化、バイオマスなどの代替燃料への転換  
「将来的にはアンモニア・水素バーナ等の代替燃料導入によりプラントのCO<sub>2</sub>排出量ゼロへ」
- 再生可能エネルギーの採用(例:太陽光発電)
- 高効率機械装置による省エネ化(工場建替、設備更新)